

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

第3期東金市まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

千葉県東金市

3 地域再生計画の区域

千葉県東金市の全域

4 地域再生計画の目標

本市は、東京都心まで約 50 キロメートル、千葉県のほぼ中央部に位置し、温暖な気候に恵まれ、平野部は良質な田園地帯が太平洋に向かって広がっている。また、丘陵部は山武杉の森林に覆われた自然豊かな環境にある。

古くは江戸時代、徳川家康の鷹狩りのために「御成街道」が造られたことにより、この地に宿場町と近隣の農産物が集まる問屋街が形成された。以降、物流の集散地としてにぎわうようになり、九十九里地域の中核都市として発展してきた。現在では、千葉東金道路や東金九十九里有料道路、また、国道 126 号をはじめとする国・県道が結節する広域道路ネットワークの要衝となっており、千葉東金道路、国道 126 号と東金インターチェンジで接続した首都圏中央連絡自動車道が全面開通したこと、より一層の発展が期待されている。

鉄道についても JR 東金駅をはじめ福俵駅、求名駅の 3 駅を有しており、特に東金駅周辺は、「まちの玄関口」として都市機能の集積や産業活動の核となっている。

このように本市では、都市機能の集積、交通の要衝、丘陵部の里山、平野部の田園といった市のポテンシャルを生かしたまちづくりを進めている。

なお、2020 年の国勢調査結果によると、本市の総人口は 58,219 人となっており、2005 年からの 5 年間においては、50 人増加となったものの、2010 年からの 5 年間では、1,099 人減少しており、2010 年を境に総人口は減少傾向に転じている。

年齢3区分別人口の推移をみると、年少人口（14歳以下）については、人数、構成比率ともに2005年以降減少を続け、2020年には6,040人（10.4%）となり、生産年齢人口（15～64歳）については人数、構成比率ともに、2005年から減少に転じ、2020年には33,761人（58.0%）となっている。

一方、老年人口（65歳以上）は、2005年の10,967人（17.8%）から2020年の17,163人（29.5%）へと15年間で人数では6,000人以上、構成比率では約12ポイント増加している。

2020年の高齢化率（老年人口が総人口に占める割合）は29.5%と、全国平均（28.6%）、千葉県平均（27.6%）を上回っており、年少人口比率は10.4%と、全国平均（11.9%）、千葉県平均（11.7%）をともに下回っていることから、本市における少子高齢化が進んでいる状況にある。

世帯数は、2020年には25,403世帯となっている。これは、核家族化の進行や単身世帯等の増加により2000年以降増加を続けており、1世帯当たりの人数は2.29人である。

また、このような状況に加え、2014年に日本創生会議で、「消滅可能性都市」が発表され、本市も「消滅可能性都市」とされていたが、発表から10年が経過したことに伴い、人口戦略会議において、2023年12月に公表された新たな「日本の地域別将来推計人口（2023年推計）」（国立社会保障・人口問題研究所）に基づき、全国の地方自治体の「持続可能性」について分析が行われた結果、「消滅可能性都市」からの「脱却」を遂げている。

これは、分析に用いる主要な数値である「若年女性（20～39歳）人口減少率」において、2023年推計値の減少率が約15%改善したことによるものであり、国勢調査の結果における若年女性人口についても2015年～令和2年2020年の5年間で173人増の5,193人となっている。

この要因としては、外国人住民の増加といった全体的な傾向に加え、本市において、大学や大学校、警察学校が所在しているといった特有の状況などもあるものと捉えている。なお、現状、若年女性人口が増加傾向にあり、減少率も改善されているものの、人口戦略会議の分析を踏まえると、自然減対策や社会減対策といった取組も必要である。

このような状況を踏まえ、本市では、将来人口の減少や少子高齢化への対策とし

て、総合計画に掲げた市の目指すべき将来像である「豊かな自然と伝統を守り 未来へ続く My City 東金」の実現に向けた取組の推進を図ることとしている。

地域コミュニティの維持・活性化をまちづくりの基礎・土台とした中で、出生人口の増加につながる安心して出産・育児のできる環境の充実、転入人口の増加や転出人口の抑制につながる企業誘致や産業基盤の整備による働く場としての機能強化、市のポテンシャルを最大限に活かす住環境の整備、市民が安心・健康に暮らし、世代・地域間交流による豊かな心と人を育てるまちづくりへの効果的な取組を推進していくことを念頭に、市民一人ひとりが本市に誇りを持っていただき、未来に向かって持続性のあるまちづくりを進めていくために以下の基本目標を掲げている。

- ・基本目標（１） げんきづくり for Vitalization
～魅力あるまちをPRして人を呼び込む～
- ・基本目標（２） みらいづくり for Next Generation
～子育てのしやすい環境を整える～
- ・基本目標（３） まちづくり for Comfortable City
～住みやすいまちをつくる～
- ・基本目標（４） しごとづくり for Job Creation
～地域に雇用を創出し働きやすい環境を整える～
- ・基本目標（５） きずなづくり for Friendship
～地域間の連携を目指して～

【数値目標】

５－２の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2030年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	東金市に「わたしのまち(My City)」といった愛着を感じている市民の割合	63.0%	70.0%	基本目標 1
イ	この地域で今後も子育て	90.3%	92.0%	基本目標 2

	をしていきたいと思う親の割合			
ウ	東金市に「住み続けたい」と感じている市民の割合	56.5%	70.0%	基本目標 3
エ	仕事や余暇を過ごすなど生活する上で、東金市が「暮らしやすい」と感じている市民の割合	30.7%	60.0%	基本目標 4
オ	近隣市町との連携が進んでいると感じている市民の割合	10.7%	50.0%	基本目標 5

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2 のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

第3期東金市まち・ひと・しごと創生推進事業

ア 魅力あるまちをPRして人を呼び込む事業

イ 子育てのしやすい環境を整える事業

ウ 住みやすいまちをつくる事業

エ 地域に雇用を創出し働きやすい環境を整える事業

オ 地域間の連携を目指す事業

② 事業の内容

ア 魅力あるまちをPRして人を呼び込む事業

学園のまちの特色を生かし、市民と大学等教育機関が連携し、まちを活

性化するとともに、地域の魅力を高め、地域力を底上げして、まちを明るく元気にする。また、首都圏近郊に位置する便利な立地特性を活かし、人が訪れたいくなるような魅力をPRする。

【具体的な事業】

- ・観光PR事業
- ・地区コミュニティセンターを拠点とした自治活動の活性化 等

イ 子育てのしやすい環境を整える事業

出会いから子育てまで切れ目のない支援を図るとともに、安全面や経済面から子育て世帯を支援する。また、働きながら産み育てやすい環境づくり等をはじめ、教育・保育の現場と地域・家庭が一体となって子どもを育てる。

【具体的な事業】

- ・保育所・認定こども園運営事業
- ・利用者支援事業(基本型・こども家庭センター型)
- ・幼保再編事業 等

ウ 住みやすいまちをつくる事業

時代の変化に適応した安全で便利なまちにするとともに、市と市民が協働して安心して住み続けられるまちをつくとともに、多様化していくライフスタイルに対応し、誰もが暮らしやすい「わがまち」となるよう、人々のつながりやコミュニティ形成を重視し、「集い・交流」できる場所や空間、機会の創出に努める。また、市民や来訪者等多様な人が集まる拠点や魅力スポットをつくとともに、快適な住まいの場を提供し、新たな移住・定住者を迎え入れる。

【具体的な事業】

- ・地域公共交通計画推進事業
- ・道路整備の企画・立案
- ・みのりの郷東金発展事業
- ・文化財保護事業

- ・スポーツ教室・イベント実施事業
- ・公共施設等総合管理計画推進事業 等

エ 地域に雇用を創出し働きやすい環境を整える事業

人の流れを促し、雇用を創出する新たな産業の導入・育成に加え、ニーズが高い健康・福祉部門の充実による雇用の創出を図るとともに、豊かな地域資源の活用や新技術の導入により、時代が求める産業を地域から生み出す。また、多様な選択肢が可能となるような仕事と生活の調和のとれた社会の構築に向けた取組を進める。

【具体的な事業】

- ・6次産業化推進事業
- ・企業誘致推進事業
- ・産業用地整備事業
- ・スマートインターチェンジ整備事業
- ・医療センター推進事業
- ・看護師確保事業 等

オ 地域間の連携を目指す事業

持続可能なまちづくりに向け、地域内における人々のつながりやコミュニティ形成を重視した取組を進めるとともに、便利で快適、安全・安心な暮らしを確保する地域のつながりと絆を深める。

【具体的な事業】

- ・医療センター推進事業(再掲)
- ・観光関係期間支援事業
- ・地域公共交通計画推進事業(再掲)
- ・広域連携推進事業
- ・地区コミュニティセンターを拠点とした自治活動の活性化(再掲) 等

※なお、詳細は、東金市第3期まち・ひと・しごと創生総合戦略のとおり

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

1,300,000 千円（2026 年度～2030 年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（P D C A サイクル）

設定した事業の K P I に対する達成度を内部評価した後、市民代表や外部有識者、関係団体・機関の代表者等で構成する「東金市総合計画審議会」により、毎年度 9 月頃に効果の検証を行い、検証後、本市の W E B サイトにおいて公表を行う。

⑥ 事業実施期間

地域再生計画の認定の日から 2031 年 3 月 31 日まで

6 計画期間

地域再生計画の認定の日から 2031 年 3 月 31 日まで